

「親育」スケジュール

今年の子ミュカ®ゼミナールも当面【オンラインライブ】で開催いたします。「親育アンケート」にご回答頂くことを条件に受講料が無料になります。(zoom cloud meetingを使います)

・2月11日(木)第66回「人生を面白く生きるための4つの特徴」

10:00~11:00 担当: 山上 敏樹

・3月19日(金)第67回「生命(こころ)の声を聴く質疑講座」

20:00~21:00 担当: 岩淵 賢次

【お知らせ】毎年恒例の周年記念イベントは秋頃開催を予定しております。

「親育アンケート」分析中!

「親育アンケート調査」には、多くの方にご協力頂き、本当にありがとうございました。ご回答頂いた方からは「人生の振り返りができてよかった。」といったうれしいご感想も。現在分析中ですが、とても興味深い内容になっています。中間報告をしたいと思っておりますので、楽しみにしててくださいね。

アンケートはこちらから→



親育メンバー募集中

「親育メンバー」を随時募集しております。3種類の会員制度がございます。お申込は、HPからどうぞ。(講座受講で入会金免除、入会月で会費が異なります)

- ▼正会員 一緒に活動して、盛り上げていきたい。
入会金: 10,000円 年会費: 12,000円 (月1,000円)
- ▼利用会員 イベントや講座に参加したい。
入会金: 1,000円 年会費: 6,000円 (月500円)
- ▼賛助会員 私たちを応援したい。
入会金: 10,000円 年会費: 12,000円 (月1,000円)

私達が正会員メンバーです (50音順、令和3年2月1日現在。メンバーの紹介はHPにて)

代表理事) 黒田 忠晃 副代表理事) 山上 敏樹 理事) 横山 美八子 監事) 岩附 あずさ
正会員) 阿部 ゆり 岩淵 賢次 岩淵 優子 太田 秀樹 久野 由詠 谷川 未左子 平野 弘子
眞柄 文子 松本 紀子 村野 政章 山本 百百代

**NPO法人
親育
ネットワーク**
「親育」を通じて、未来ある社会を

〒470-0122
愛知県日進市蟹甲町中島277-1 (にぎわい交流館内)
電話: 0561-76-3475 (La C Lo内)
E-Mail: oyaiku.network@gmail.com
HP: 「親育ネットワーク」で検索
<http://www.oyaiku-net.org/>



おやいく通信

NPO法人親育ネットワーク



令和3年2月
第9号

ハタモク×親育ネットワーク開催!

第325回へ働くことの目的を持つ~
ハタモク × **親育ネットワーク**
子ミュカ®ゼミナール第65回
12/12(土) 15:00~17:00
参加無料

主催: 愛知県教育委員会、日進市教育委員会

昨年愛知県日進市で開催し、大好評だった「ハタモク」とNPO法人親育ネットワークがコラボした特別バージョンの5回目。今回は、シクレストをいれたき、再び日進市で開催します。母体の進歩を求めている方、自分自身の軸を立つて進みたい方、視野を広げたい方など、他職種、他世代の方との交流を通じて、「働くことの意味は何だろうか?」を一緒に考えたいと思います。



昨年12月12日(土)に、愛知県日進市のワンダースクエアドリームズセミナールームにて、毎年恒例となりました「ハタモク×親育ネットワーク(後援:愛知県教育委員会、日進市教育委員会)」を無事に開催することができました。

新型コロナウイルスの影響で、当初はオンライン開催と思いましたが、生の感覚を大切にしたいということで、対策を取りながら、

久しぶりの対面開催となりました。時間は、いつもよりも短い2時間でしたので、話し合いやワークの時間をぎゅっとした感じ。今回は、学生10名、社会人10名の20名の方にご参加頂きました。

ハタモクさんのビジョンミッションを共有後、自分を語る、仕事を語る、働く目的を語るの3セッションを行い、学生と社会人がお互いの想いを語り合いながら、気づきを得る2時間。将来成りたい職業の人が偶然目の前にいらっしやったり、普段お互いに話さないことを聞いて新しい一面を見つけたり、どのセッションも、どのグループも盛り上がっていました。

社会の構造が変わっていることが、今回の出来事によって明らかになった今だからこそ、より働く目的が大切になってきます。皆様に多くの気づきを持って帰って頂いた様子でした。ご参加くださった皆様、ありがとうございました!



←ワンダースクエア様の素敵なセミナールームで開催しました。



グループワークでは、「働く目的とは何か」を存分に語って頂きました。→

「発達段階シリーズ第3弾」としてお届けしました。

○9月 言葉の与え方のコツ

代表理事の黒田が担当いたしました。前半は、言われてうれしい言葉と嫌な言葉について。言われて嬉しい言葉は皆同じではないからこそ、相手をよく観察して、相手にとってうれしい言葉を投げかけていくことの大切さ、こちらの在り方が問われること、表面だけではなく、非言語を大切にすることをお伝えしました。

後半は、自分自身に与えている言葉について、何かするときにどういう言葉を自分に与えているか、どういう言葉で制限をかけているかを出して頂きながら、制限の言葉が及ぼす影響についてお伝えし、その制限が幼少の頃からきているのだとすれば、ここの言葉の与え方を変えていくことで、生き方も変わってくることをお伝えしました。



○10月 乳幼児期の遊びの種類 ~ひとり遊び、ごっこ遊び、模倣遊び~

ふぁみりいぐっど合同会社代表で、保育士の岩淵優子さんにご登壇頂きました。前半は、レクチャーの時間。発達段階に準じて遊びの仕方が徐々に変わってきますが、その遊びを通して、人として大切なことである、自発性、信頼感等々を身につけていくのです。「遊び=生きることそのもの」というキーワードが印象的でした。後半は、皆様からのご経験や知識の共有の時間になりました。



全体を通して、乳幼児期に「早くから知識を詰め込み、遊びは駄目なこと」ではなく、遊びを大切にしないと大人になったときに人として大きな影響が出てくることを改めて感じました。

○11月 アウトプット力を高める！~惹きつけるプレゼンテーションとは？~

担当は、副代表理事で、特定非営利活動法人子どもアイデア楽工理事長の山上敏樹でした。今の子どもたちが社会に出るときにどのようになっているかを見た上で、これからの時代は、詰め込む知識・技能だけではなく、いかに身につけたことを活用できるか、いかに主体的に生きられるかが大切になってきます。そこで、後者の能力を高めるためのワークでは、みんなで物語を作ったり、質問に答えたりしました。

また、現状の課題についての話題もいろいろ出てきましたが、それをどのようにしていくとよいだろうと考えることの大切さも学ぶ時間になりました。

次世代をどう育てていくか。小さな一歩をどう積み重ねていけるか。大人が考えていかなければいけませんね。



お知らせ：子ミュカゼミナールは当面オンラインライブ講座となります。

去年からとてもハマっている人がわたしにはいます。藤井風くん、去年デビューしたばかりの23歳。親しみを込めて「風くん」と勝手に呼んでいます。

我が子からスゴいよ！と見せられた風くんのYouTubeは、小さな頃にベートーベンソナタ悲愴の第二楽章を知った時のような衝撃で、仕事をしていても、車の運転をしていても、ごはんを食べていても、風くんのつむぐ音楽が頭の中をぐるぐる回って、頭の中で鳴る風くんの音楽に合わせて体が勝手にリズムを取ってしまっ、どんなコード進行で演奏しているのか思いを巡らせてしまっ、心を奪われまくってます。

アルバム「HELP EVER HURT NEVER」の最後の曲「帰ろう」のサビからのストリングスの所は、鳥肌が立ちます。

インタビュー番組で、「とんでもない時期にデビューしてしまった感じはあるけど、これも全てギフトだと思っている。こんな時期だからこそ、世の中にこの作品が届けられたのだと思う。こんな時だからこそ、お互いを思いやることを諦めないで欲しい。」

「死ぬ時のことを考えることは全然ネガティブな話とか怖い話とかじゃなくて、死ぬっていつか帰る時のことを考えるってことが、今をどう生きていけばいいのかを考えるキッカケになる。それによって、もしかしたら、より良い今をみんな生きていけるんじゃないかなと思って。」と、ごく自然に、この時代もギフトだと言える風くんがつむぐ音楽だから、多くの人に感動を与えているんだろうと思います。

時間は常に流れて、時代は変わっていきます。わたしが生きてきた、たった50年程でも、その時々で、少しずつだけ「常識」と言われることは変わってきました。

どんな時代になっても、「何のために生まれて生きて、どう終わりたいか」を意識することで、よりよい自分を生きることができると思います。

「継続は力」だし、「石の上にも3年」だとは思いますが、変わったっていい、むしろ「変わることを必要とされている今こそ、ホントに好きなこと、ホントにしたいことを見つけることができる、夢を語れる時代だと思います。

みんなで夢を語る時代。今こそそんな時代にしたいとわたしは思います。